

数え切れないほどの感謝

私を変えた先生は中学校3年生の担任だったF先生です。

私は中学校3年生のとき、生徒会役員、バレー部のキャプテンなどを勤め、毎日がとても忙しく、それに加えて友人関係のこともたくさん悩みを抱えていました。

誰にも「きつい」と言えず本当にしんどかったとき、F先生から「最近元気ないね。きついことないの。話聞こうか。」と声をかけてもらい、すごく嬉しくて泣きそうになったのを覚えています。

そして、2人で話をしているときに、涙がたくさん出てきて、先生は「きつかったね。気付けなくてごめんね。」と言ってくれました。そのとき自分の話を聞いてくれる人がいてくれたことにとても幸せを感じました。

もしあのときにF先生が声をかけてくれなかったらずっと下を向いて前に進んでいけなかったと思います。先生に全て話をして、そのときのF先生からの「頑張れ」の言葉が一番嬉しかったし心強かったです。背中を押して応援してくれた先生がいたからこそ受験も部活動も友人関係も乗り越えることができました。本当に感謝しきれません。

今でもF先生に一番会いたいと思うし、会ったときは嬉しさ100%です。先生の笑顔と言葉でどれだけ自分が助けられてきたか数えられないです。私もF先生みたいに人を助けて元気を与えられるような大人になりたいと思っています。

大人になってもずっと忘れないと思うし、いつまでも仲良くさせていただきたいです。

興梠 那奈子

(高校生)